



神奈川県立鶴見支援学校

地域連携グループ・進路チーム NO. 5

令和5年 11月 30日発行

2学期は、修学旅行や体育祭など学校生活を彩るさまざまな学校行事がありました。行事を通して、学年やクラスの団結力も高まったように感じます。たくさんの楽しい思い出を作ってほしいと思います。

さて今回は、本校と分教室の校内実習と現場実習の様子、進路面談について紹介します。

本校 高等部 2年校内実習

高等部2年生は、10月2日(月)～13日(金)の2週間、校内実習を行いました。白・赤・青・緑の4工場に分かれて作業を行いました。実習の共通目標として「報告・連絡・相談」を掲げて頑張りました。箱折りや商品の袋詰め、封入、ボールペンの組み立て・分解等の様々な作業を経験しました。各工場によって作業内容は異なりましたが、一人ひとり様々な経験を積むことができました。2年生は、今回の実習で3回目の実習となり、時間を意識した行動や作業の準備、片付けなどを自分から気づいて活動に取り組める場面が増えました。今回の実習を通して、自分の苦手な作業、得意な作業を見極められたのではないかと思います。是非、来年の校内実習・現場実習に活かしてほしいと思います。



本校 高等部 3年 現場実習

高等部3年生は9月上旬から後期現場実習が始まりました。前期では、生徒同士や教師の声援を受けながら、個々に目標としている場所に挑戦しました。後期では、前期の反省を生かし、本人・保護者・担任・進路担当が一致団結して実習に臨んでいます。生徒たちも現場実習を経験し、表情が頼もしくなっているように見受けられます。実習後は、一人一人心を込めてお礼状を書きました。



分教室校内実習・2・3年現場実習

分教室では、10月12日（木）から10月25日（水）で校内実習が行われました。前期とほぼ同じ作業を各課で行いました。1年から3年まで3グループに分かれて今回は、2週間固定して同じ作業を行いました。前期と同様の作業のため各課の作業もスムーズに行うことができ、報告・連絡・相談は1年生も意識して、声をはっきり出せるようになりました。各課により作業内容は異なりますが、1年生も2度目の作業だったのでシール貼りなどの細かい作業も正確にできるようになっていました。現場実習も並行して行われました。2年生は初めての人、2度目の人それぞれでしたが、校内実習とは違う緊張感で臨みやりきれたのではないかと思います。3年生は卒業を見据えての実習で緊張はあるものの自分の課題をしっかり意識してそれぞれ達成できたと思います。一人ひとり大きく成長できたのではないのでしょうか。今回の実習を活かし次のステップに進んでほしいと思います。



高等部 進路面談について

高等部では、2年次と3年次に進路面談を行います。進路面談では、本人・家庭・学校との3者で進路の方向性や本人の強みや課題を共有し、卒業後の進路に向けて話し合いを行います。

また、卒業後にどういう道に進みたいか、どういうことを頑張りたいか、何をすることが好きか等を聞き取り、生徒自身が自己決定をして進路を選択できるように心がけています。ただ、18歳での進路選択は本人の思いだけではうまくいかないこともあります。例えば、『やりたい思い』と『できること』は異なります。子どもの思いを受け止めながら、人生の先輩として保護者の思いや客観的な視点を伝えていただくことで、よりよい進路選択ができることと思います。

卒業後に進む道や進路選択のタイミングは様々です。今から基本的な生活習慣を身につけることや、できることとできないことを把握したり、できる幅や量、質を高めたりするために日常の中で多くのことを経験すること、好きなことを見つけることやお金を適切に使うこと等をしていくことで、卒業後の選択肢の幅を広げていただけると嬉しく思います。

